

令和2年8月19日

愛南町議会
議長 内倉長藏 殿

図書館等建設検討特別委員会
委員長 那須芳人

図書館等建設検討特別委員会報告書

本特別委員会に付託された事件を協議したので、愛南町議会会議規則第76条の規定により、その結果を下記のとおり報告する。

記

《第1回》

1 日 時

平成30年12月19日（水）午前11時10分より

2 開催場所

議員協議会室

3 出席委員（15名）

那須芳人、佐々木史仁、金繁典子、石川秀夫、鷹野正志、原田達也、
坂口直樹、山下太三、中野光博、濱本元通、内倉長藏、山下正敏、
吉村直城、土居尚行、西口 孝
宮下一郎（オブザーバー）

4 協議事項

「今後の活動方針について」

5 協議内容

図書館を建てる前提ではなく、必要か必要でないかというところから協議していくべき。

特別委員会をつくった以上は、ある程度の結論は出して報告すべきとの意思確認に終わる。

《第2回》

1 日 時

平成31年1月22日（火）午前10時から

2 開催場所

議員協議会室

3 出席委員（15名）

那須芳人、佐々木史仁、金繁典子、石川秀夫、鷹野正志、原田達也、
坂口直樹、山下太三、中野光博、濱本元通、内倉長藏、山下正敏、
吉村直城、土居尚行、西口 孝
宮下一郎（オブザーバー）

4 協議事項

- （1）図書館建設構想の概要と経緯について
- （2）特別委員会の活動方針について

5 協議内容

清水生涯学習課長より図書館建設構想の概要と経緯についての説明の後、イニシャルコスト、ランニングコストについての説明あり。その後質疑となる。

また今後の委員会の活動予定としては、2月に実施予定の「町民との意見交換会」での意見を踏まえ、協議を進めるということで確認を得る。

《第3回》

1 日 時

令和元年6月3日（月）午前10時から

2 開催場所

議員協議会室

3 出席委員（14名）

那須芳人、佐々木史仁、金繁典子、鷹野正志、原田達也、坂口直樹、
山下太三、中野光博、濱本元通、宮下一郎、山下正敏、吉村直城、
土居尚行、西口 孝

4 協議事項

- （1）町民説明会の結果報告について
- （2）特別委員会の今後の活動について

5 協議内容

生涯学習課長から町民説明会の結果報告、図書館建設に係る今後の町の取組みについて説明があった。

今後の協議資料として、図書館への転用候補施設6カ所の現地調査を実施し、適当と思われる施設を選定、図書館として整備した場合の概算設計を出してもらうことに決定。

近隣の図書館（新しく整備した図書館だけでなく既存施設を利用した図書館も）の視察を行なうことを決定。具体的な視察内容は正副委員長で調整する。

《第4回》

1 日 時

令和元年7月9日（火）午後1時30分から

2 開催場所

議員協議会室

3 出席委員（14名）

那須芳人、佐々木史仁、金繁典子、鷹野正志、原田達也、坂口直樹、
山下太三、中野光博、濱本元通、宮下一郎、山下正敏、吉村直城、
土居尚行、西口 孝

4 協議事項

- (1) 図書館への転用候補施設の現地調査
- (2) 現地調査取りまとめ
- (3) 視察研修について

5 協議結果

前回、選定した6ヶ所の転用候補施設を視察した結果、城辺保健福祉センターを整備し図書館にするとした概算設計を出してもらうことに決定。

視察研修については、既存の施設を利用した図書館を含め、8月下旬を目途に正副委員長に一任し、研修内容等決めることとなった。

《第5回》(行政視察)

1 日 時

令和元年8月22日(木) 午前9時から

2 視察場所

パフィオうわじま、図書交流館まなびあん、ゆすはら雲の上の図書館、
津野町立図書館(虎太郎館・かわうそ館)

3 参加者(14名)

那須芳人、佐々木史仁、金繁典子、鷹野正志、原田達也、坂口直樹、
山下太三、中野光博、濱本元通、宮下一郎、山下正敏、吉村直城、
土居尚行、西口 孝
内倉長藏(オブザーバー)

4 随 行

早川和吉、大間知伸一

5 視察目的

近隣の図書館の概要と利用状況等について

6 視察内容

「パフィオうわじま」では、図書館の他に子育て支援、生涯学習といった機能を持った市民のための活動拠点となっている。さらには、指定避難所・津波避難ビルにも指定され、災害時の拠点としての機能も兼ね備えている。

「図書交流館まなびあん」「ゆすはら雲の上の図書館」についても図書館としてだけの機能ではなく、住民が集まりやすい環境づくりを目指した複合施設となっている。ともに地元産材を使った施設となっている。

最後に2つの施設を持つ津野町立図書館ですが、庁舎の空きスペースや使わなくなった保育所を活用した施設であった。

《第6回》

1 日 時

令和元年9月11日(水) 午前10時から

2 開催場所

議員協議会室

3 出席委員（14名）

那須芳人、佐々木史仁、金繁典子、鷹野正志、原田達也、坂口直樹、
山下太三、中野光博、濱本元通、宮下一郎、山下正敏、吉村直城、
土居尚行、西口 孝
内倉長藏（オブザーバー）

4 協議事項

- （1）行政視察の補足について
- （2）図書館への転用候補施設について

5 協議結果

8月22日に実施した行政視察の感想を各委員から聴取した後、担当課長より、城辺保健福祉センターを図書館に転用した場合の平面図を基に、改修に伴う概算費用や、図書館と保健福祉センターの併用での問題点等説明あり。

なかでも保健福祉課長より保健福祉センターの右半分を住民集いの館として使用するとすると、健康増進業務の中核施設としての機能の低下や城辺地域の健診等利用が出来ないことや、大規模災害時の救護所等医療体制の拠点が無いことなど、様々な機能低下の要因があることについて説明があった。

《第7回》

1 日 時

令和元年11月21日（木）午前10時から

2 開催場所

議員協議会室

3 出席委員（14名）

那須芳人、佐々木史仁、金繁典子、鷹野正志、原田達也、坂口直樹、
山下太三、中野光博、濱本元通、宮下一郎、山下正敏、吉村直城、
土居尚行、西口 孝
内倉長藏（オブザーバー）

4 協議事項

図書館建設について

5 協議結果

11月8日の議員全員協議会において、町長より図書館建設の必要性や立地予定地の選定経緯のほか、既存建物の利用についての説明があった。これに対し議員からは具体的な質疑が無かったことをうけ、本委員会としては、委員一人一人から図書館建設についての意見を聴取した上で、現段階での委員会としての賛否をとった。

- （1）図書館新築については、賛成少数。
- （2）既存の施設の利用については、賛成多数。

なお、次回の委員会において、図書館建設についての町長の考え方を聞いた上で、質疑等を行い今後の協議とする。

《第8回》

1 日 時

令和元年12月18日（水）午後1時30分から

2 開催場所

議員協議会室

3 出席委員（14名）

那須芳人、佐々木史仁、金繁典子、鷹野正志、原田達也、坂口直樹、
山下太三、中野光博、濱本元通、宮下一郎、山下正敏、吉村直城、
土居尚行、西口 孝
内倉長藏（オブザーバー）

4 協議事項

- （1）図書館建設について
- （2）図書館整備「反対」事例について
- （3）図書館建設に係る住民アンケートについて

5 協議結果

委員会からの理事者への出席要請を受け、町長より図書館（住民集いの館）の整備についての考え方や町民説明会の内容等説明あり。これに対し委員からは規模や経費についての質問のほか、既存の施設を利用した整備についての考え方等質疑あり。

教育長より、今の御荘文化センターの活用を再検討し、その上で新しく建築する部分を縮小できるかどうか検討してみた上で、特別委員会に再度提案したいとの意見あり。

その後、前回委員からの調査依頼のあった図書館整備反対意見事例について、委員長より約28施設の反対事例に対し、結果的には建設をしている旨説明。

最後に委員長より図書館建設に係る住民アンケートの経費について、2,000人を対象とすると50万円ほどかかるため、町民全てにアンケートを実施すると、500万円程度かかる旨説明。なお封入や集計等目に見えない経費がある旨も説明。この件に関しては、特に実施の意見なし。

《第9回》

1 日 時

令和2年5月22日（金）午前10時から

2 開催場所

大会議室

3 出席委員（14名）

那須芳人、佐々木史仁、金繁典子、鷹野正志、原田達也、坂口直樹、
山下太三、中野光博、濱本元通、宮下一郎、山下正敏、吉村直城、
土居尚行、西口 孝
内倉長藏（オブザーバー）

4 協議事項

- （1）住民集いの館（仮称）整備について

5 協議結果

前回の特別委員会において、教育長より委員からの意見を集約し、御荘文化センターの活用を再検討したうえで新しく建築する部分を縮小した案を提案したいとのことで、今回その縮小案が担当課より説明があった。

今回の縮小案は、御荘文化センターに図書館機能のみを増設することで、前回の1,547㎡から704㎡とし、約1/2の縮小とした。収容面積数は会議室等を減らしたことにより170席から113席と57席減った案となっている。

整備費全体としては、前回7億1,856万3千円であったものに対し4億8,159万1千円と大幅に削減された案となっている。蔵書数に関しては、前回よりも建物が縮小されたにも関わらず目標冊数の6万冊を収蔵できるスペースを確保している。

財政的な面においては、今回の縮小案によると、総事業費約4億8千万円程かかるものの、本町の負担は約3割の1億5,300万円で、初年度の4,000万円を除く約1億1,100万円を20年間で償還するため、次年度からは約560万円の支払いとなる。

人件費等維持費に関しては、約4,000万円かかるものの、令和元年度普通交付税措置を参考にすると約3,400万円程度措置されることから、町の実質的負担は600万円程となる。

かかる町の負担としては、毎年1,160万円程が見込まれるとの説明であった。

《第10回》

1 日 時

令和2年7月22日（水）午前10時から

2 開催場所

議員協議会室

3 出席委員（14名）

那須芳人、佐々木史仁、金繁典子、鷹野正志、原田達也、坂口直樹、
山下太三、中野光博、濱本元通、宮下一郎、山下正敏、吉村直城、
土居尚行、西口 孝
内倉長藏（オブザーバー）

4 協議事項

住民集いの館（仮称）整備について

5 協議結果報告（まとめ）

平成28年8月に実施した「あいなん未来議会2016」において中学生議員より図書館の要望があり、町民を対象としたアンケート結果、必要とする割合が68%を占めていたことから、図書館整備検討懇話会の意見を経て図書館整備基本構想（案）を議会に提示した。

これを受け平成30年第4回定例会において愛南町図書館等建設検討特別委員会を設置し、執行部からの具体案に対する意見や図書館への転用候補施設の現地調査を実施し、適当と思われる施設として城辺保健福祉センターを選定し、図書館として整備した場合の概算費用及び具体的な問題点について執行部に提示す

るよう求めた。

また、今後の協議の参考として、近隣の図書館（新しく整備した図書館だけでなく既存施設を利用した図書館）の視察を行った。

委員会が提案した城辺保健福祉センターについては、施設の半分を図書館等にすることにより、健康増進事業の中核施設としての機能が著しく低下することや、大規模災害時における救護所等医療体制の拠点等様々な機能低下の要因となることのほか整備費用について担当課より説明があり、後日開催された議員全員協議会において町長から御荘文化センターを利用した整備案について協議願いたいとの説明があった。

第7回の特別委員会において、このことを議題に議論を重ね、新築の図書館整備には賛成少数、既存の施設の利用については、賛成多数とのことから次回理事者を交え既存施設の利用整備について議論を行うこととなった。

町長より図書館（住民集いの館）の整備についての考え方や町民説明会の内容等含め、転用候補地の一つである御荘文化センターでの併用案を提示したが、これに対し委員からは規模や経費についての質問のほか、既存の施設を利用した整備についての考え方等質疑があり、教育長より御荘文化センターの活用を再検討し、その上で新しく建築する部分を縮小できるかどうか検討し、特別委員会に再度提案したいとの申し出があり、第9回の特別委員会において最終案が提示された。

最終案としては、御荘文化センターに不足する図書館機能のみを増設することで、増築面積を704㎡とし収容座席数は113席とする案となっている。整備費全体としては、4億8,159万1千円とし、蔵書数に関しては、目標冊数の6万冊を収蔵できるスペースを確保している。

財政的には、本町の負担は約3割の1億1,530万円で、初年度の4,000万円を除く約1億1,100万円を20年間で償還するため、次年度からは約560万円の支払いとなることである。

第9回の特別委員会において、執行部から提示された整備案が最終と言うことで、これ以上の議論を重ねても結論の先送りとなる為、委員の賛成多数により最終案をもとに委員会としての意見をまとめることとした。

図書館等建設検討特別委員会としては、最終案に対し賛成少数で、「否決」という結論に達した。反対意見の中には、図書館そのものには賛成であるが、ハコ物建設について反対、或いはもう少し議論の余地があるのではないかとの意見があった。

今日情報化社会の中における図書館の役割としては、子供から高齢者に至るまで町民誰もが図書館サービスを利用できることが、公立図書館の役割であり、情報を活用して町民全体の知識を高め、課題や問題を解決し、人々が互いに楽しく生活できるように支援することであり、いつでも、どこでも、誰もが図書館を利用できる環境づくりを行うことは言うまでもなく、そのための方策として、今回図書館を含め交流施設及び歴史資料施設としての機能を併せ持った「住民集いの館（仮称）」の整備について検討してきたが、委員会としては、今回の最終案に対しては、賛成少数との意見であった。

しかしながら情報化社会の中で、図書館が不要という考え方もあることは十分理解できるが、図書館が必要という声があることも当然の事実である。

反対意見の中には、図書館の必要性は十分に理解しているが、情報化社会の中での図書館の在り方について今一度考える時期ではないかとの意見があったことも付け加えておく。

以上、図書館等建設検討特別委員会での意見を集約し報告とする。

なお、当特別委員会において、付託された事件を完了したことにより、図書館等建設検討特別委員会を終了する。